

同窓会入会式の挨拶

同窓会会長 高橋一夫

みなさまのご入会につきまして、一言、お祝いを申し上げます。

本校の同窓会では、同窓会員同士の絆を深める交流と母校の事業を後押しを行っております。

同窓会員同士の絆を深める交流としては、本部同窓会としての「同窓会まつり」と県内及び県外に22の地域・職域の同窓会があります。

母校の事業を後押しする実績としては、創立100周年での山東講堂、創立120周年では山東会館の建設があります。

当同窓会の同窓生は、明治19年7月の卒業生からですので、大変な数にのぼっております。

同窓生は、国内はもとより全世界で、また各界で、活躍されております。

そして、この度、ご卒業されるみなさまも、この同窓生の仲間として、大活躍をされることでしょう。

そして私には、確信していることがあります。

それは、「必ずや将来、みなさま方が同年代のみならず各世代にまたがる同窓生の存在に感謝することがある。」ということです。

そこで、みなさまに1つだけ、アドバイスがあります。

みなさまへの連絡方法を、自分が元気である証として残しておいてもらいたいということです。少なくとも、移動される時は、新しい連絡先を、同窓会事務局にだけはお伝え下さい。

会員名簿を見ますと行方不明者のように住所欄が空欄となっているのを見かけます。悲しいことです。

大学生の時は、明日への夢だけが見えて、高校の同窓会なんて気にしません。しかし、社会に出ると、とたんに同窓生のありがたみがわかってきます。

特に先輩方です。私も先輩方から何度救われたことか。

最後になりますが、山形県立山形東高等学校同窓会が、いつも皆様方のかたわらに寄り添っておりますことをお伝えし、私の挨拶とさせていただきます。

ご入会、誠におめでとうございます。